

起源は江戸時代初期にさかのぼり、400年の歴史を持つ石州瓦。伝統を守りながら原形デザインの和瓦タイプのほか、欧洲スタイルでモダンさを演出した「平板瓦」や「S瓦」の生産にも取り組むなど現代建築の流れにも対応を進めており、履歴に向

赤 瓦

現代建築への対応策として久性や風合いなどの特性を持つ伝統の街並みを形成する赤褐色以外に、オレンジの活用も進んでいます。生かした壁材や床材としての存在に気付くかもしれません。

現代建築に対応

系やグリーン系などカラー瓦。病院や銀行のアプローバリーションも増えた。

チ、公共施設の外壁などに形状や色だけでなく、耐

使用されており、履歴に向

多彩な形状や色 壁、床にも活用

けていた自線を下げるれば、これまで見過ごしていた瓦の存在に気付くかもしれません。

また最近では、じか火を当ても割れない耐熱瓦の食器が登場。伝統の瓦の魅力を身近に感じてもらい、未来に継承するため、業界の挑戦が続いている。